

教育目標 **かしこい子 やさしい子 たくましい子** 文責：小松久展

元気な子どもたちが帰ってきました。

夏休みが終わり、有家小学校に元気な子どもたちが帰ってきました。2学期も「みんな なかよし えがお かがやく 有小伙子」をスローガンに、優しさと厳しさを兼ね備えた指導を行ってまいります。

※

※

今年の夏も猛暑続きで、先週は台風10号が接近するなど、まだまだ気候が安定しない日が続きます。しばらくは暑い日が続くと思われますので、登下校時は必ず帽子をかぶるように指導しております。また、暑い日は水筒の中身がなくなってしまうこともあります。ご家庭でも、帽子の着用や多めのお茶の持参等についてご配慮をお願いします。

以下、9月の行事予定等をお知らせします。

- 1 9月5日(木)の午後に授業参観と学級部会を実施します。また、9月4日・5日の両日は体育館にて夏休み作品展を開催しますので、お誘いあわせの上、ぜひご来校ください。
- 2 9月12日(木)に地震を想定した避難訓練を実施します。
- 3 9月21日(土)から30日(月)までの秋の全国交通安全運動にあわせて、交通少年団の児童が校門前で挨拶運動を実施します。また、当番の保護者の皆様にも立哨指導をしていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

子どもの将来の幸せのために ～親や地域の関わり～

(前長崎県更生保護女性連盟会長 浦川末子先生 講演会)

9月14日(土) 19:00から西有家総合学習センターカムスにて、新切小学校ご出身の浦川末子先生による講演会が開催されます。浦川末子先生におかれましては、本校PTA主催の講演会(令和4年7月1日開催)でも、ご講演をいただきました。

その際、特に共感し深く記憶に残っているのが、「幼児期の豊富な体験(忍耐力・社会性・情緒の安定の育成)が人生を幸福にする」ということです。

なぜなら、このことは幼児期に限らず、小学校に通う学童期においても同じ事が言えるからです。

※

※

今、子どもたちが毎日5～6時間の学習に向かう中で育まれる忍耐力や、自分の欲求を抑えてでも人の役に立とうとする姿勢は、成人後の職業人として欠かせない能力です。

友達と協力して課題を解決する協調性や、意見が違ってもお互い話し合い、時には譲り合って妥協点を見出そうとする社会性は、生涯を通じて必要な力と言えるでしょう。

これら「忍耐力」「協調性」「社会性」等をバランスよく育むには、家族ではない他者と関わり合いながら学ばせることが肝要です。

そのためには、幼児期に限らず学童期においても「情緒の安定」に家族(特に親)の愛情が欠かせないと思うのです。

以下、講演会チラシの文章をご紹介します。

※

※

子どもの健やかな育ちのためには、子どもが「親や多くの大人から愛されていること」が必要です。幼児期に親や家族の愛情を全身に浴びて育った子どもは、幸福の土台を身に付けていきます。そして「地域で教え、鍛えられること」により、社会に力強く翔び立てるのです。

「幸せな子どもの人生を保障するために、大人はどう関わればいいのか。」親子の絆・家庭の絆・地域の絆をどのように育んでいくかをやさしくお話しいたします。